

在宅医療・介護連携の評価

- 4つの場面での整理 -

令和3年6月28日
柏市地域医療推進課

在宅医療・介護連携の評価

- 4つの場面での整理-

1. 前回の振り返り
2. 平成30年度に作成した事業評価指標
3. 4つの場面とは
4. 4つの場面に着目する理由
5. 4つの場面と取組の関連 イメージ図
6. 4つの場面ごとの評価と取組の整理
7. ご意見いただきたいこと

1. 前回の振り返り

- 前回の連携協議会にて、「4つの場面でのデータ整理」と「評価指標と取組の紐づけ」を今後の予定として提示。

4. 今後の予定

在宅医療・介護連携への取組を効果的に実施するため、次の視点からの整理も必要と考えられます。

- 退院，日常の療養，急変時，看取りの4つの場面でデータの整理
(例) 死亡小票分析は「看取り」を把握するデータ
- 評価指標と取組の紐づけ
実施している取組を，評価指標や上記4つの場面へ紐づける

→ 厚労省から提示された指針等を参考に整理を進め，課題や，新たな取組について協議していきたいと考えています。

26

2. 平成30年度に作成した在宅医療介護連携の事業評価指標

- この評価指標をベースに4つの場面ごとに整理し、効果的な取組に繋げる。

アウトカム指標		利用者・家族の生活満足度 医療・介護サービス従事者満足度 在宅療養率
活動状況・ 連携状況	プロセス 指標	在宅医療の認知度 場所別の死亡割合（死亡小票分析） 入退院時の連携（退院時共同指導料，退院調整加算， 介護支援連携指導料）
提供体制等		最期を迎えたい場所の希望割合 在宅医療・介護サービスの実績 （医科，歯科，薬剤，看護，リハビリ，定期巡回等）
提供体制等	ストラク チャー 指標	訪問診療を行う診療所数 訪問歯科診療を行う診療所数 訪問薬剤指導を行う薬局数 訪問看護ステーション数，訪問リハビリ事業所数 居宅介護支援事業所数，訪問介護事業所数 地域密着型サービス数，高齢者入所施設数 等

3. 4つの場面とは

4つの場面

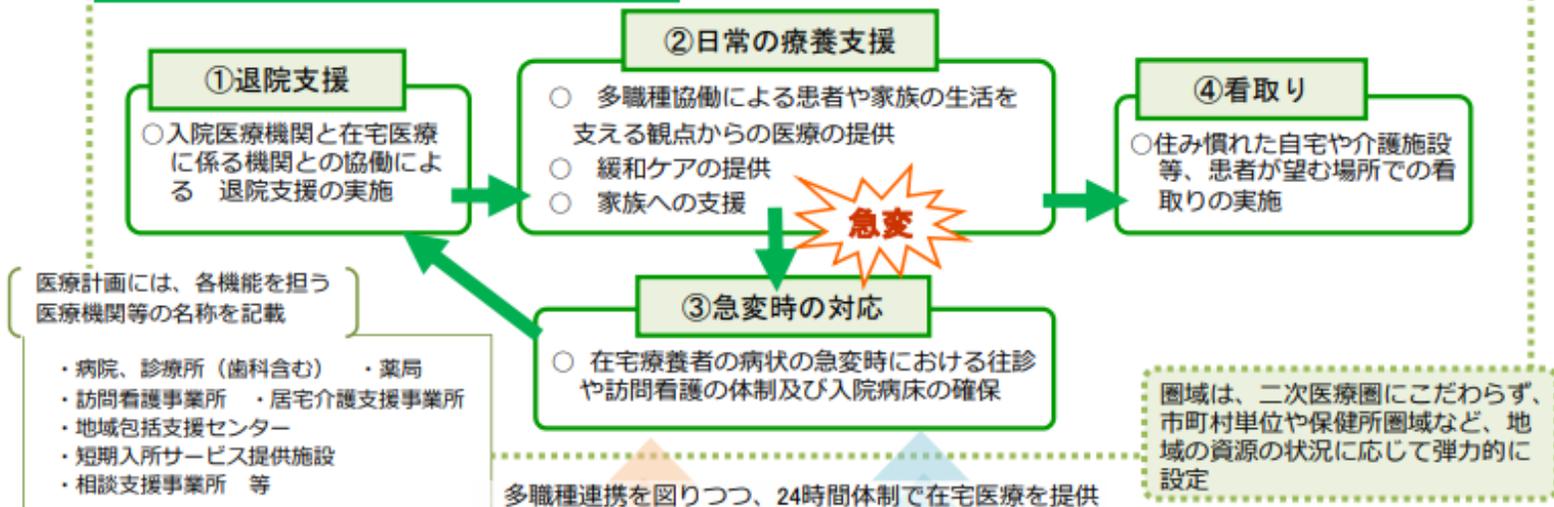
厚生労働省医政局が提示している4つの場面

在宅医療の体制について

については、都道府県が策定する医療計画に、地域の実情を踏まえた課題や施策等を記載。体制構築に係る指針を提示し、都道府県が確保すべき機能等を示している。

～ 「在宅医療の体制構築に係る指針」による在宅医療提供体制のイメージ ～

在宅医療の提供体制に求められる医療機能



在宅医療において積極的役割を担う医療機関

- ①～④の機能の確保にむけ、積極的役割を担う
 - ・自ら24時間対応体制の在宅医療を提供
 - ・他医療機関の支援
 - ・医療、介護、障害福祉の現場での多職種連携の支援

- ・在宅療養支援診療所
- ・在宅療養支援病院 等

在宅医療に必要な連携を担う拠点

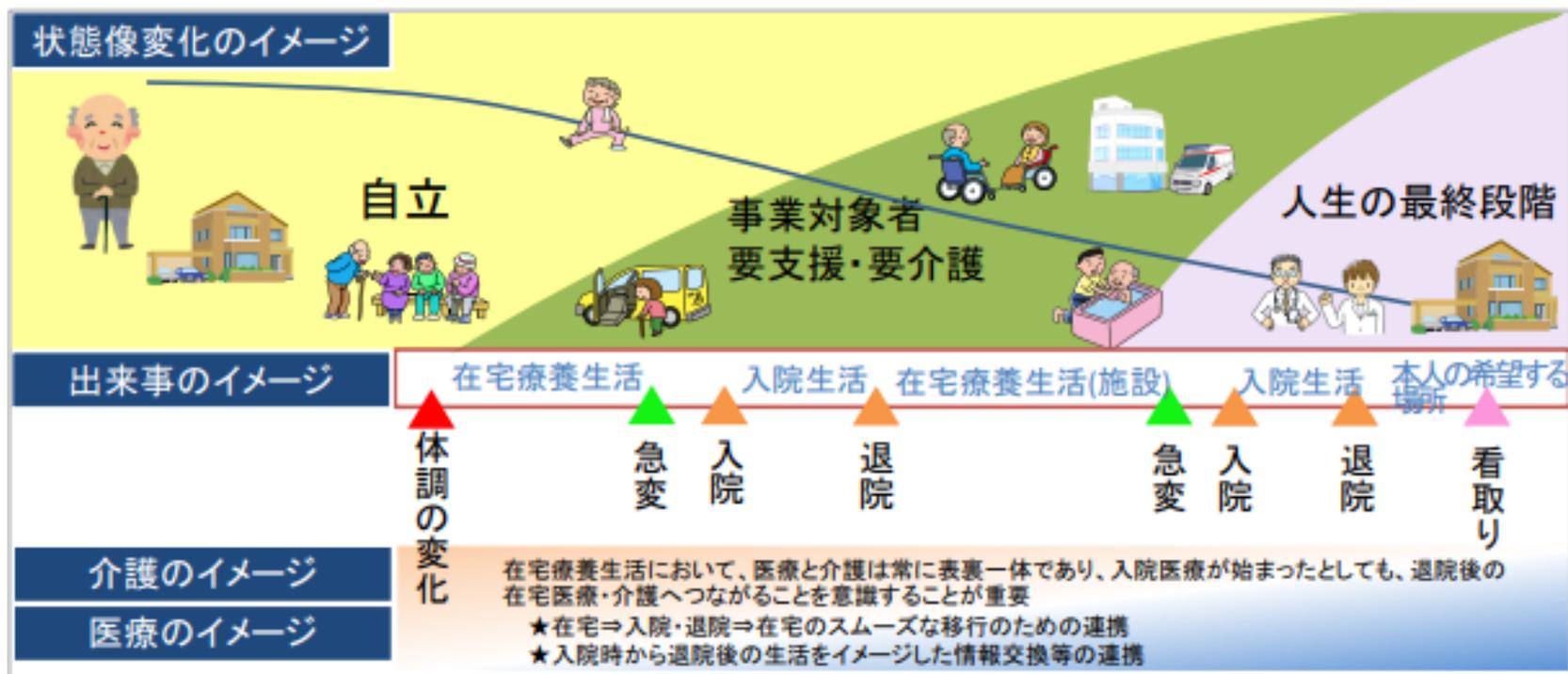
- ①～④の機能の確保にむけ、必要な連携を担う役割
 - ・地域の関係者による協議の場の開催
 - ・包括的かつ継続的な支援にむけた関係機関の調整
 - ・関係機関の連携体制の構築 等

- ・医師会等関係団体
- ・保健所
- ・市町村 等

在宅医療の体制構築に係る指針（疾病・事業及び在宅医療に係る医療体制について）（平成29年3月31日付け医政地発0331第3号厚生労働省医政局地域医療計画課長通知）

4. 4つの場面に着目する理由

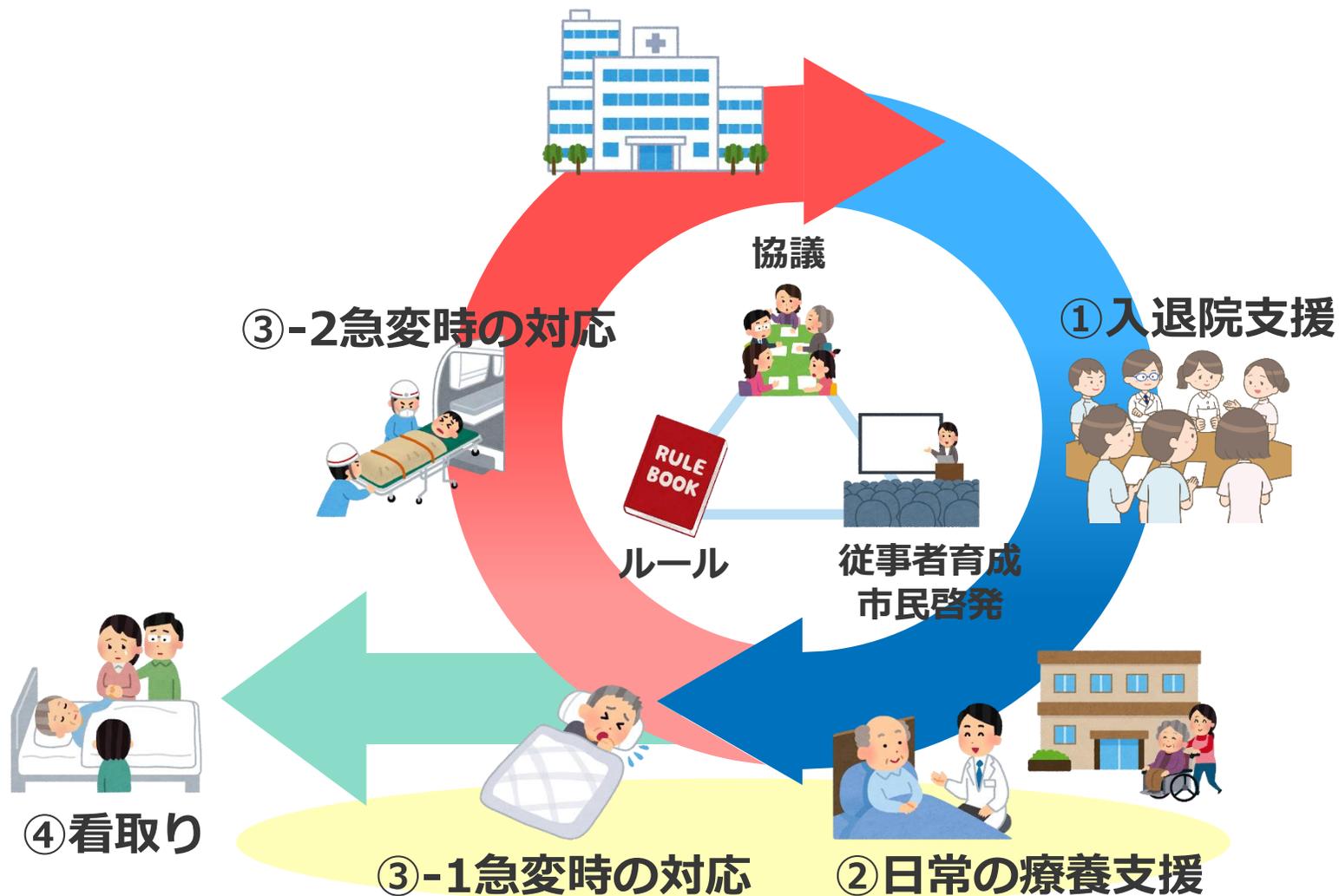
ライフサイクルにおいて、場面毎に必要な医療と介護のサービスの比重は変わるものの、地域において在宅療養者が医療と介護を必要とする場合には、医療と介護が連携し、高齢者が住み慣れた地域で最期まで生活することができるように支援していく必要がある。



切れ目のない在宅医療と介護の連携体制を構築するためには、ライフサイクルの中で起こりうる節目となる**医療と介護が主に共通する4つの場面を意識して取り組む必要がある。**

5. 4つの場面と取組の関連 イメージ図（案）

- 4つの場面ごとに取組状況を把握し、必要な取組の整理につなげる。

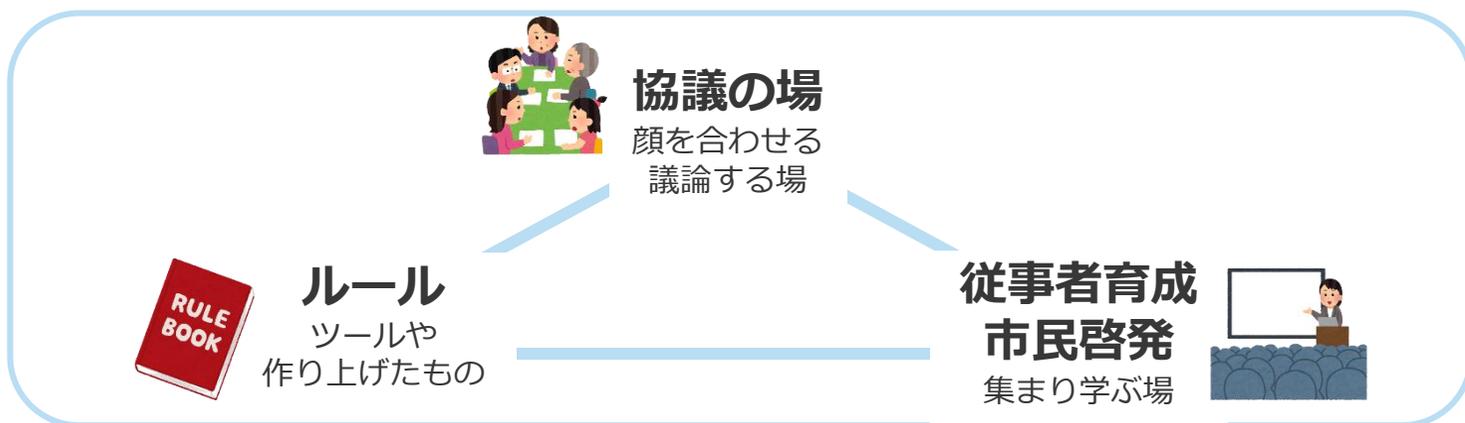
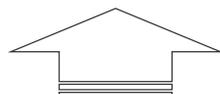


6. 4つの場面ごとの評価と取組の整理（案）

アウトカム（利用者・家族・従事者満足度）

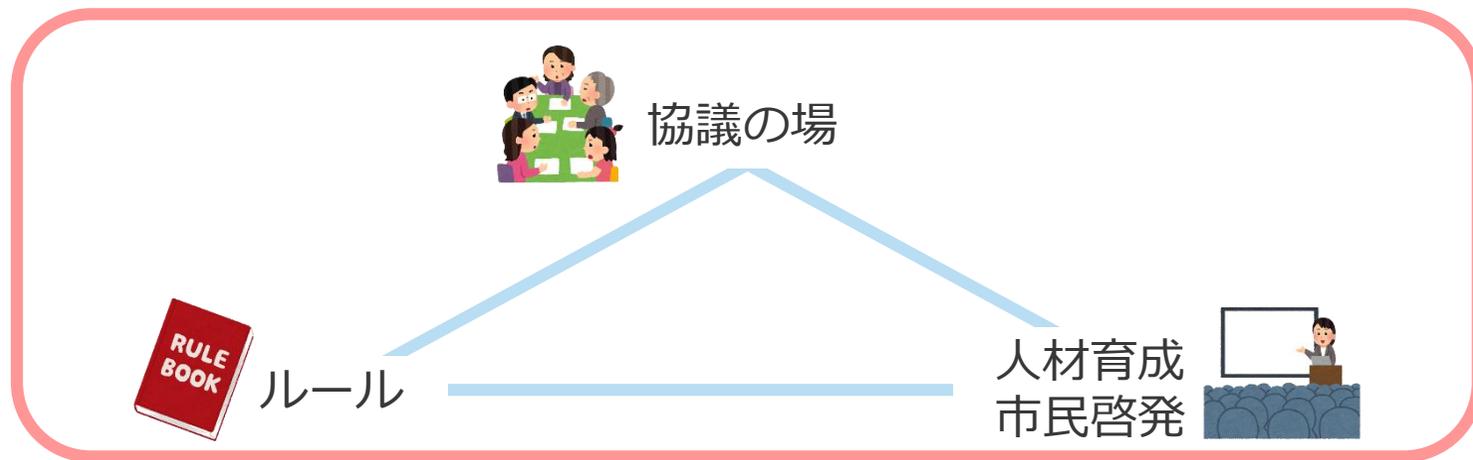


	①入退院支援	②日常の療養支援	③急変時の対応	④看取り
目指す姿	各場面ごとの望ましい状況（在宅医療・介護連携推進事業の手引きver.3より抜粋）			
プロセス	レセプト実績（サービス提供状況）			死亡小票
	独自調査（レセプトでは反映されない実情や，取組の効果をしめすもの）			
ストラクチャー	対応施設・事業所数			



7. ご意見いただきたいこと

	①入退院支援	②日常の療養支援	③急変時の対応	④看取り
目指す姿	<div data-bbox="430 329 886 568" style="border: 2px solid red; padding: 5px; color: white;"> 「こんな調査をしたらいいのでは？」等 ご意見お願いします </div>			
プロセス				
	独自調査（レセプトでは反映されない実情や，取組の効果をしめすもの）			
	所属団体で行っている取組みについてご教示ください			



補足 | 回答様式は別添資料をご覧ください。

(2) 在宅医療・介護連携の評価について【資料5】

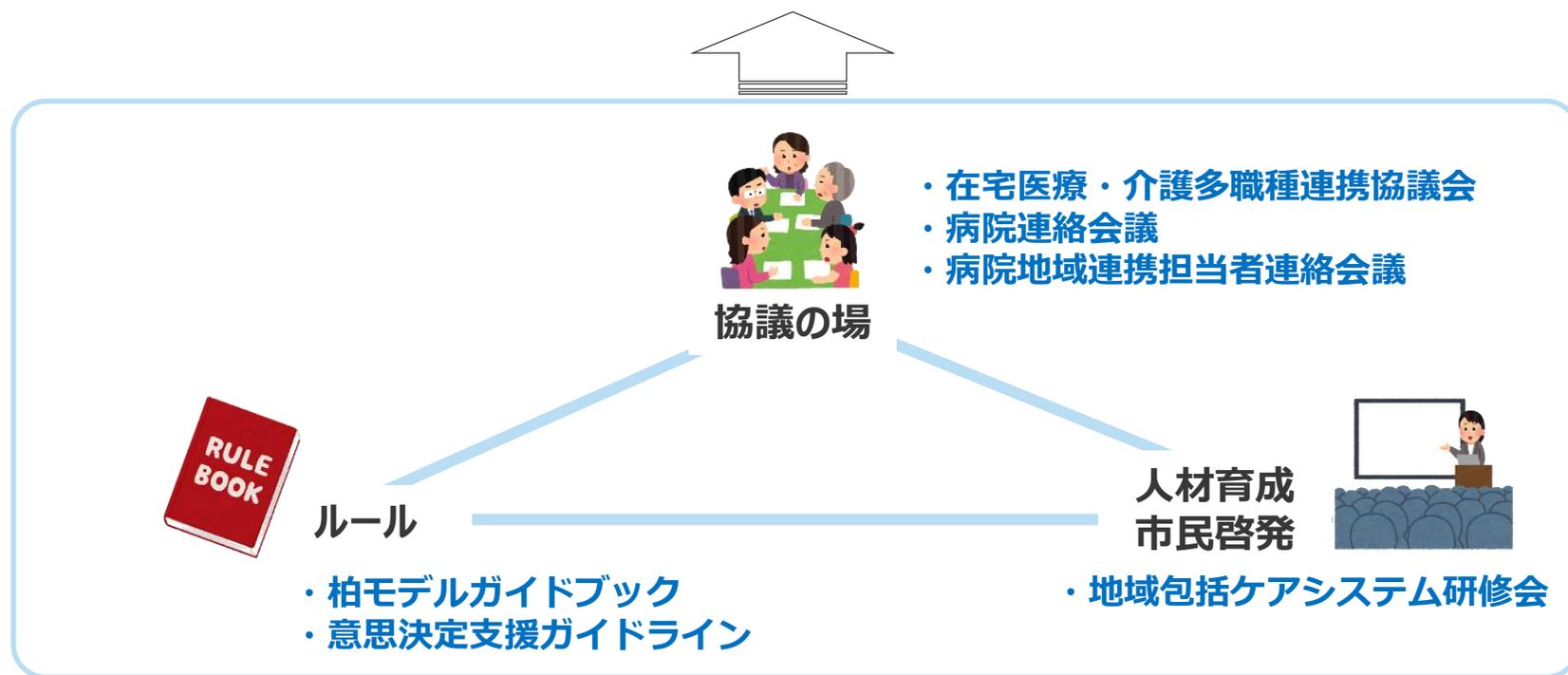
下記の表にて、ご意見、ご回答をお願いします。

意見あり 意見なし

		①入退院支援	②日常の療養支援	③急変時の対応	④看取り
レセプトに反映されない連携の実態や取組の効果について、どのように把握すればよいか、ご意見、ご提案をお願いします。 ※単発ではなく定期的な調査を想定しています。		例ケアマネに病院との連携の意識についてアンケートを行う。			
あなたの職団体が実施している取組をご教示ください。 ※分けられない場合は複数ご記載をお願いします。	協議				
	ルール				
	従事者育成・市民啓発				
その他、ご意見、ご提案等をお願いします。					

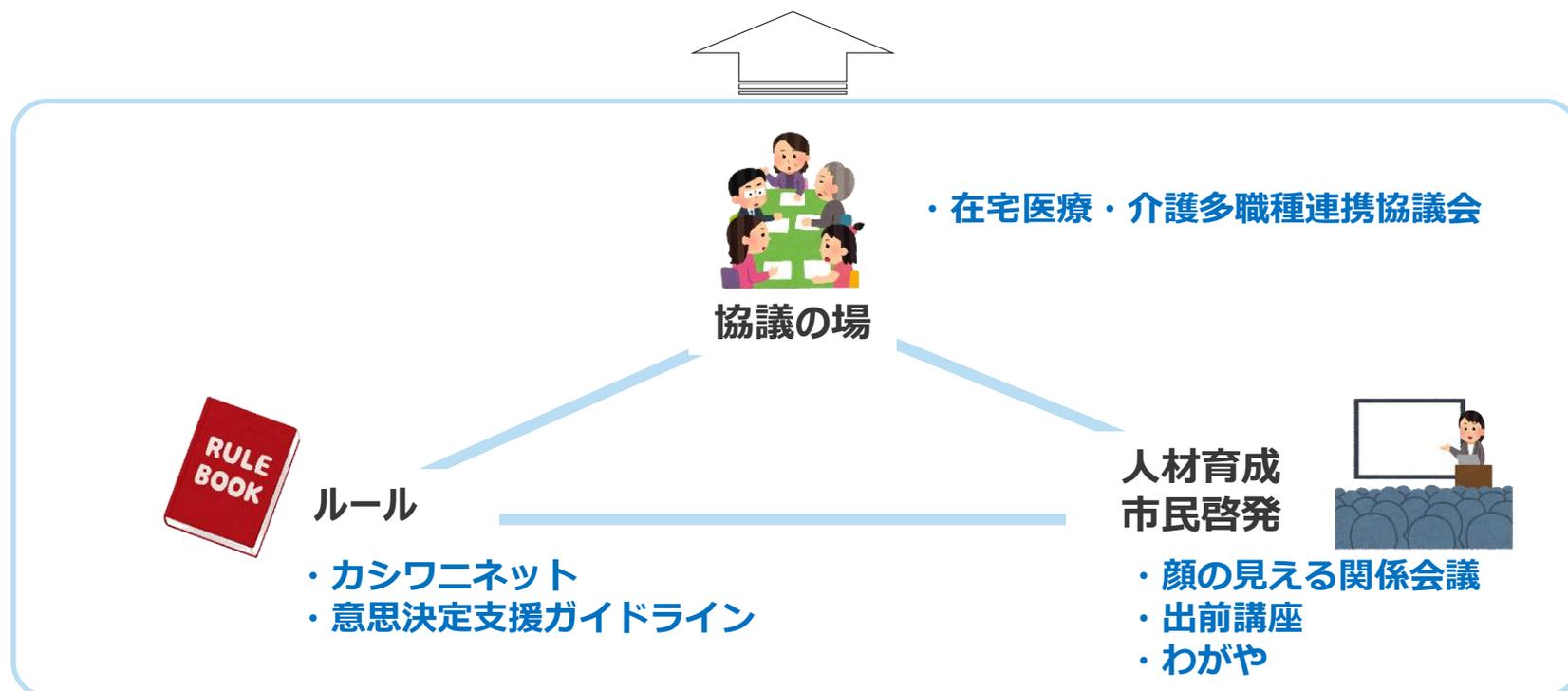
①入退院支援

目指す姿	入退院の際に、医療機関、介護事業所等が協働・情報共有を行うことで、一体的でスムーズな医療・介護サービスが提供され、医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、希望する場所で望む日常生活が過ごせるようにする。	
プロセス	レセ	各項目
	独自調査	病院との連携に関するケアマネ等への意識調査（案） 救急搬送データ（案）
ストラクチャー	プロセス指標を実施している施設、事業所	



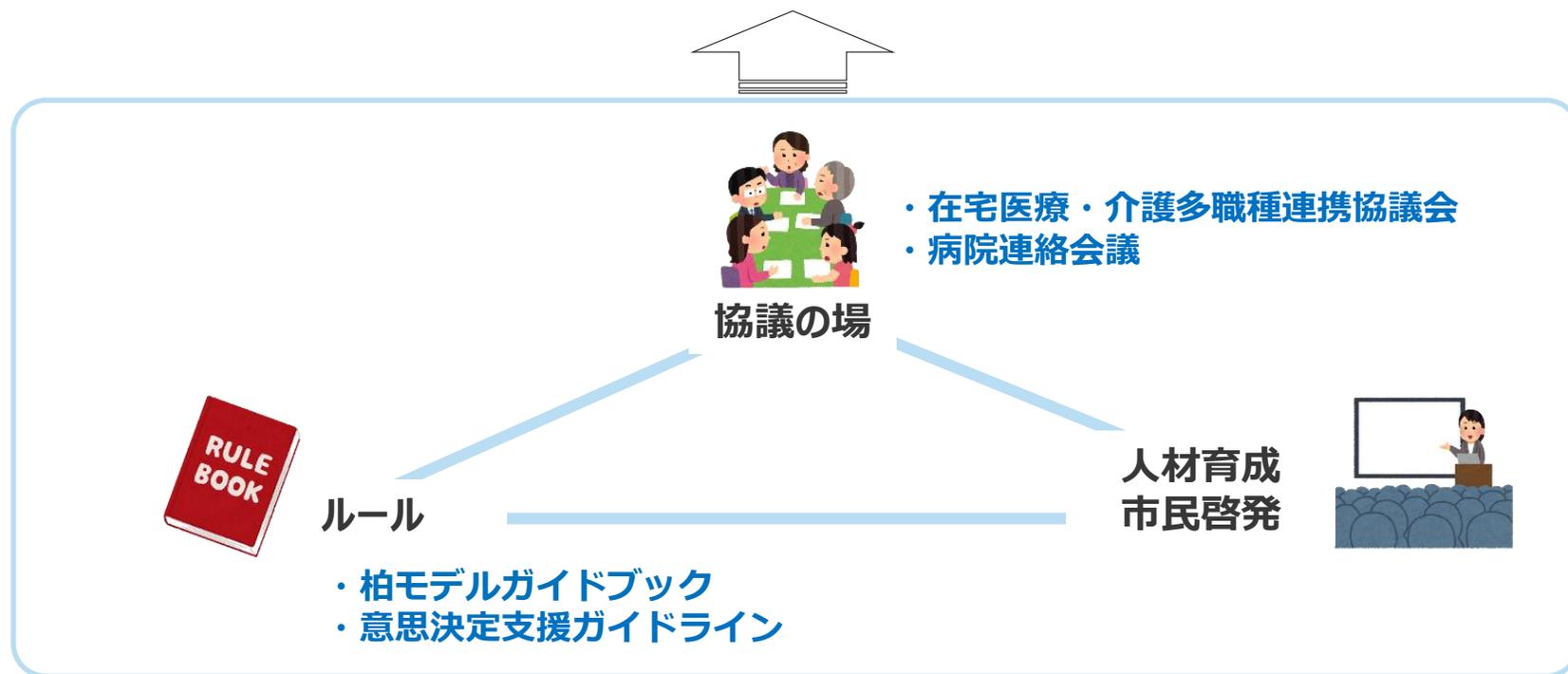
② 日常の療養支援

目指す姿	医療・介護関係者の多職種協働によって患者・利用者・家族の日常の療養生活を支援することで、医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が住み慣れた場所で生活が出来るようにする。	
プロセス	レセ	各項目
	独自調査	連携センターの相談データ（案），在宅医療の認知度 最期を迎えたい場所の希望割合
ストラクチャー	プロセス指標を実施している施設，事業所	



③急変時の対応

目指す姿	医療・介護・消防（救急）が円滑に連携することによって、在宅で療養生活を送る医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者の急変時にも、本人の意思も尊重された対応を踏まえた適切な対応が行われるようにする。	
プロセス	レセ	各項目
	独自調査	救急搬送データ（案）夜休診・救急外来の受診データ（案）
ストラクチャー	プロセス指標を実施している施設，事業所	



④看取り

目指す姿	地域の住民が、在宅での看取り等について十分に認識・理解をした上で、医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、人生の最終段階における望む場所での看取りを行えるように、医療・看護関係者が、対象者本人（意思が示せない場合は、家族）と人生の最終段階における意思を共有し、それを実現できるように支援する。	
プロセス	レセ	各項目
	独自調査	死亡小票，看取り介護の実態調査（案）
ストラクチャー	プロセス指標を実施している施設，事業所	

